

6. 学生支援

6.1 概況

学部・学科の在籍学生数

平成29年5月1日現在

学部	学科	第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			合計			
		男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	合計	
理工学部	1年生(教養)	191	26	217	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	191	26	217
総合光科学部		1	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	1
理工学部	応用化学生物学科	-	-	-	47	14	61	38	9	47	-	-	-	85	23	108	
	電子光工学科	-	-	-	52	0	52	38	0	38	-	-	-	90	0	90	
	情報システム工学科	-	-	-	72	8	80	-	-	-	-	-	-	72	8	80	
	グローバルシステムデザイン学科	-	-	-	2	0	2	54	9	63	-	-	-	56	9	65	
総合光科学部	バイオ・マテリアル学科	-	-	-	0	0	0	3	1	4	46	5	51	49	6	55	
	光システム学科	-	-	-	2	0	2	2	0	2	44	6	50	48	6	54	
	グローバルシステムデザイン学科	-	-	-	2	0	2	7	1	8	39	1	40	48	2	50	
合計		192	26	218	177	22	199	142	20	162	129	12	141	640	80	720	

※1年次修了時に学科配属を行います。

大学院研究科の在籍学生数

平成29年5月1日現在

研究科	専攻	課程	第1学年			第2学年			第3学年			合計		
			男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	合計
光科学研究科	光科学専攻	博士前期課程	9	1	10	12	3	15	-	-	-	21	4	25
		博士後期課程	3	0	3	3	0	3	2	1	3	8	1	9

6.2 奨学金

平成29年度各奨学金採用状況は次のとおりです。

・日本学生支援機構奨学金

学種	貸与種別	予約	在学	追加	緊急 応急	臨時	平成29年 度採用計	平成28年度 採用実績
学部	第一種	25	5	0	0	0	30	40
	第二種	60	16	0	1	2	79	80
大学院	第一種	4	1	0	0	0	5	8
	第二種	0	0	0	0	0	0	4

6. 学生支援

・千歳科学技術大学奨学金

学 種	採用人数
学 部	11
大学院	1

・大学院研究援助金

種 別	採用件数
国 内	16
国 外	1

・その他の奨学金

奨学金名	貸与・給付	学 種	採用人数
あしなが育英会	貸与・給付	大学院	1
	貸与	学部	1
慶応工学会奨学金	給付	大学院	1
札幌市奨学金	給付	学部	2
浜中町育英事業奨学金	給付	学部	1

6.3 学生相談

平成 29 年度の学生相談利用状況は次のとおりです。

担 当 者 臨床心理士 2 名、相談員（元特別支援学校校長）1 名

相談回数 125 回（週 3 回、1 回 5 時間）

相談件数 297 件（実人数 37 人） 1 回平均 2.4 人

◆利用者数（件）

	1 年	2 年	3 年	4 年	院生	その他	合計	(実人数)
平成 29 年度	48	54	77	96	0	22	297	(37)
平成 28 年度	66	104	102	110	0	4	386	(37)

※その他には、卒業生、教員、保護者等が含まれます。

◆月別利用者数（件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	35	42	39	36	8	22	34	22	23	21	12	3	297

男女各 1 名の臨床心理士の他に発達障害について悩んでいる学生の相談が増加していることから、平成 25 年度より、元特別支援学校校長経験を有する相談員を加え、3 名で心理性格面、対人関係、進路修学、学生生活等の様々な相談内容に対応している。

6.4 健康相談

平成 29 年度の健康相談利用状況は次のとおりです。

担 当 者 学校医

相談回数 26 回（休業期間を除き原則月に 2～3 回実施、1 回 2 時間）

6. 学生支援

相談件数 26 件（実人数 26 人） 1 回平均 1.0 人

◆利用者数（件）

	1 年	2 年	3 年	4 年	院生	不明	合計
平成 29 年度	5	10	6	5	0	0	26
平成 28 年度	10	5	4	11	3	0	33

◆月別利用者数（件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	12	5	4	2	夏期休業	0	1	1	0	1	0	春期休業	26

健康相談では、学校医による相談の機会を設け、健康上の悩みを持つ学生のカウンセリングを含めた指導を行っています。

6.5 困りごと相談（障害学生支援等含）

平成 29 年度の困りごと相談利用状況は次のとおりです。

担当者 相談員（元特別支援学校校長）

相談回数 48 回（週 1 回、1 回 5 時間）

相談件数 99 件（実人数 9 人） 1 回平均 2.1 人

◆利用者数（件）

	1 年	2 年	3 年	4 年	院生	その他	合計
平成 29 年度	0	3	22	64	0	10	99
平成 28 年度	7	15	65	20	0	1	108

その他には、TA、教員、保護者等が含まれます。

◆月別利用者数（件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	10	12	11	10	4	9	15	9	6	4	5	4	99

障害のある学生の相談窓口として、又、学習面を含む「大学生活の困りごと」を具体的にサポートすることを目的として平成 27 年度より開設しました。

継続支援が必要なケースが多いため、夏期休業、春期休業期間も開設し、必要に応じ家族や教員など関係者を含めた相談なども実施している。

6.6 クラスアドバイザー

平成 19 年度より、1～3 学年についてクラスアドバイザー制度を導入し、出席状況調査等

6. 学生支援

に基づいて、必要な学生には状況の確認や相談に応じるなどの支援を行っています。特に、1 学年については、1 名の教員が 5～6 名の学生を担当し、4 月の 1 学年交流会への参加、各学期中の個別面談を行うほか、グループでのレクリエーションを実施するなど交流機会を設け、友達づくりの支援にも努めています。平成 23 年度からは、アドバイザーと学生および学生同士のつながりをより強くすることを目的として、1 学年必修科目の一つを利用したグループ学習を行っています。

6.7 1 学年交流会

平成 29 年 4 月 5 日（水）午後 1 時 15 分から午後 4 時 30 分まで、『1 学年交流会』を開催しました。開催内容は次のとおりです。

- ①オリエンテーション
- ②グループワーク（工作とコンテスト）
- ③クラブ・サークル紹介

この事業は、1 学年を対象として、友達づくりに主眼を置いて実施しています。入学して早い時期に新しい友達をつくることによって、孤立した学生、引きこもりがちな学生の減少、さらには休学者、退学者の減少につなげることがねらいで、平成 22 年度からは入学後のオリエンテーションの初日に行っています。

また、クラスアドバイザーはこの機会に学生との連絡手段を確認し、今後のサポートにつなげています。

6.8 学生団体の活動

本学の学生団体は、平成 30 年 3 月 31 日現在、学生会（学生会執行委員会、稜輝祭実行委員会、卒業記念事業委員会）のほか「部」12 団体と「サークル」22 団体があり、延べ 380 名以上の学生が活動を行いました。学生会および「部」に対しては、課外活動の活発化を目的として、総額 324 万円の学生活動補助金を交付しました。また、学生活動補助金以外にも、「部」が学外の施設を利用して課外活動をする場合、使用料金の一部を補助しています。学生団体一覧（カッコ内は顧問教員）

学生会：学生会執行委員会、稜輝祭実行委員会、卒業記念事業委員会
部

（体育系）：バスケットボール部（山中）、硬式テニス部（山林）、弓道部
（Karthus）、フットサル部（田口）、YOSAKOI ソーラン部（小田
（久））、軟式野球部（谷尾）、卓球部（坂井）、バドミントン部（吉
田）、ストリートダンス部（小林）

（文化系）：軽音楽部（大越）、写真部（石田）、ライトアート工房（青木）

サークル：都山流尺八サークル（村井）、理科工房（長谷川）、ソフトテニスサークル、
テーブルゲームサークル、ここにこだんすサークル、エコサークル（福田）、
CCC (CIST Cycling Circle) (Karthus)、サバイバルゲームサークル（福田）、

6. 学生支援

アーチェリーサークル、菜園サークル、数検サークル（福田）、麻雀サークル、天文学サークル（梅村）、航空研究会（小林）、動画制作サークル、L Tサークル、ソフトダーツサークル、陸上競技サークル、FMac（曾我）

主な活動実績（大会入賞など）

- 学生会（学生会執行委員会、稜輝祭実行委員会、卒業記念事業委員会）
 - ・ペットボトルキャップの回収活動、稜輝祭開催、卒業記念謝恩パーティー開催
- 弓道部
 - ・千歳弓道協会9月度月例射会兼月見射会【参段以下の部 第三位】
- YOSAKOI ソーラン部
 - ・第26回 YOSAKOI ソーラン祭り【敢闘賞】
 - ・2017 スカイ・ピア&YOSAKOI 祭【ベスト8 レラ賞】
 - ・第20回みちのく YOSAKOI まつり【仙台知事賞 3位】
- 軟式野球部
 - ・第24回春季リーグ【4部リーグ3位】
 - ・第24回秋季リーグ【4部リーグ優勝】
- 卓球部
 - ・北海道秋季学生卓球選手権大会【リーグ4位】
 - ・第84回全日本大学総合卓球選手権大会北海道予選出場
- バドミントン部
 - ・第64回北海道学生バドミントン会長杯争奪選手権大会【男子シングルスB ベスト32】
- ストリートダンス部
 - ・ぷちゆにダンスバトル大会 参加
- 写真部
 - ・写真雑誌CAPA月例フォトコンテスト応募
 - ・地元企業へカレンダー写真提供
- ライトアート工房
 - ・サケのふるさと千歳水族館企画展示「花火水槽」
 - ・苫小牧美術館展示 美術館祭2017 特別展示
 - ・恵庭かしわのもり科学の祭典ワークショップを実施
- 都山流尺八サークル
 - ・三曲協会第84回定期講演会出演
 - ・千歳邦楽邦舞の会出演
 - ・聖琳社師範試験・準師範試験【2名師範登第、1名準師範登第】
- 理科工房
 - ・あそびの日 in 千歳2017 参加

6. 学生支援

- ・ミニ科学の祭典2017なつ 参加
- ・ものづくり学校祭2017 参加
- ・科学の祭典 参加【千歳大会、札幌サウスイーストオータム大会】
- ・千歳市ふるさとポケット 参加
- ・千歳市サイエンス会議 参加
- 菜園サークル
 - ・第30回花いっぱいコンクール【最優秀賞】
- 昆虫研究会
 - ・ハチの駆除実施

6.9 学生チャレンジプログラム

学生が主体的に行う活動を資金面で支援するために、「学生チャレンジプログラム」の募集を行っています。

支援対象活動は、学生全体を対象とした新たな学内イベントの創出や、社会・地域貢献活動、部昇格など学生団体の継続的な活性化を目的とした取り組みなどに対して、計画書を提出してもらい、その内容を審査の上補助を行う「学生生活貢献部門」と、社会的ニーズを踏まえた（貢献した）コンテンツ及びシステム開発を行った学生チームや個人に対して、その成果を審査した上で奨励する「情報メディア貢献部門」の2部門を支援対象としています。支援額は、学生生活貢献部門1件100万円以内、情報メディア貢献部門1件10万円以内としています。なお、平成29年度に採択されたプログラムは、学生生活貢献部門に応募したライトアート工房の活動拡大を目的とした取り組み1件でした。

6.10 大学祭の開催

第19回稜輝祭は、稜輝祭実行委員会の主催により、平成29年10月15日（日）に本学キャンパスで開催されました。

今回は、多くの人とのつながりを財産にするという想いを込め、『つなぐ』をテーマに開催しました。

各部・サークルや研究室による模擬店、YOSAKOIソーラン部による演舞をはじめ、学生団体によるイベント、縁日、移動動物園やクロスワードパズル、大画面を使用したゲーム大会などお子さま向けのイベントがあり、ご家族で楽しめる姿が多くみられました。

さらに、「TKO」「オジンオズボーン」によるお笑いライブで会場の熱気は最高潮に達しました。

6.11 交通安全指導

本学では交通事故防止と交通安全意識およびマナーの向上を目指し、ポスターを掲示する等して啓蒙活動を行っています。なお、本学では車両通学の申請を行って許可を得た（車両通学許可証を持っている）学生にのみ車両通学を許可しています。

6.12 父母懇談会の開催

平成 29 年 9 月 30 日（土）午前 10 時から午後 4 時まで、本学を会場として第 12 回父母懇談会を開催し約 90 名の参加がありました。開催内容は次のとおりです。

- ① 全体説明会（学長挨拶・就職について）
- ② 学部教育について、大学院について
- ③ 研究成果について、【講演】学生生活における困り感について
- ④ 学習・生活個別相談（担当教職員が個別に学習・生活などに関する相談に応じる）
- ⑤ 就職セミナー（企業担当者による講演、就職に関する個別相談、卒業生による就職活動報告会）

6.13 学生の受賞等

・佐々木記念賞

この賞は、本学の開学に尽力した初代学長 佐々木敬介教授（1936～1998）の偉業を称え、平成 10 年に創設されました。学業成績優秀な学部 4 年生および学術・研究に関し成績優秀または顕著な業績があった大学院生を表彰するものです。平成 29 年度は、学位記授与式において、賞状と副賞が授与されました。

<大学院>

（博士後期課程 3 年） 伊藤哲平さん

（博士前期課程 2 年） 土屋早紀さん

<学部>

（バイオ・マテリアル学科 4 年） 上野雄斗さん、松下優弥さん

（光システム学科 4 年） 加藤隆太郎さん、高橋光大さん

（グローバルシステムデザイン学科 4 年） 新家悠介さん、福田優さん

・学生表彰

この賞は、在学期間中に正課外の活動において顕著な成果をおさめた個人または団体を表彰する制度です。具体的に対象となる活動は、部活動において全国大会での入賞、ボランティア活動などになります。受賞者には「学生表彰状」のほか、副賞として記念品が贈られます。

<学生表彰> 理工工房